



四條畷市議会議員

ながはた

長畑ひろのり News

発行：2007.07.01

vol.001

e-mail : sky@nagahata.jp url : http://nagahata.jp
blog : http://nagahata.cocolog-nifty.com-blog

phone : 072-878-3205
fax : 072-877-1194

こんにちは、市政報告です！

皆さん、こんにちは。この春の市議選挙で当選し、5月1日より四條畷市議会議員として活動しています、長畑です。

今回の選挙で「情報公開と市民参画」を訴えた、私の市議としての活動の第一歩は、市政を皆さんにお伝えするところから始まります。その一つの手法として、市政報告チラシを、多くの方に配布する事としました。今後、議会報告や普通の議員活動で、市民の皆さんに知って欲しい事を、紙面を通じて報告させていただきますので、これからも宜しくお願いします。

日頃の議員活動につきましては、ブログに（ほぼ毎日更新しています）書いていますので、そちらも是非ご覧下さい。
<http://nagahata.cocolog-nifty.com/blog>

「5月臨時議会」報告です！

それでは、まず5月臨時議会や、その他の会議で決定した、私が所属します委員会名の報告をさせていただきます。

- 「教育環境福祉常任委員会 委員」
- 「くすのき広域連合議会 議員」
- 「北河内地域広域行政圏計画審議会 委員」
- 「四條畷市都市計画審議会 委員」
- 「議会だより編集委員会 委員」

上記の各委員会を選んだ理由を書きますと、まず、今まで常任委員会は3つあったのですが、今期より2つ（もう一つは総務建水消防常任委員会）となっています。そうなりますと、常任委員会は2年任期ですので、2年後に所属する常任委員会を今回と違う方へ選べば、任期中に両方行けるのです。しかし、次の項を読む事で理解して頂けると思いますが、市の10年、20年先を見据え議論をしなければならない今、少しでも早い段階で「教育…」へ行きたかったのです。

他の委員会については、他市との議員間交流や広域についての勉強がしなかったのもあって、「くすのき…議会」と、「北河内…」へ。それと、私が大学の建築科で勉強してきた「都市計…」と、紙面を変えたかった「議会だより…」です。以上、全て希望した委員会に入ることが出来ました。

また、「くすのき広域連合議会」ですが、私が四條畷市の代表となり、他市（守口市・門真市）代表と、議会についての調整等を行うことになりました。

教育は畷再生の第一歩！

「6月定例議会」長畑ひろのりの発言より抜粋

四條畷町は、昭和45年に35,833人で市になりました。それから清滝団地ができ、人口も増え続け、6年後の昭和51年の人口は52,385人にもなっています。しかし、31年経った現在、田原地区でも田原台等ができ、西部地域でも、多くのマンションが立ち並んでいるのに、昭和51年以降、約5,000人しか人口が増えていないのです。

これから進む少子高齢化の時代、四條畷市の人口は減り続けるのは目に見えています。超少子高齢化社会に成れば成る程、一世帯当たりの子どもの数は減り続け、その結果、子どもに対する親の期待や投資意欲は以前に比べ高まっていくと考えられますし、現にそういう傾向です。子どもを持ち、活力のある30～40代の世代が、特色ある教育や設備を求め、住むまちを選択すると言う時代がすでに来ているのです。

財政再建を柱として、四條畷市は明確なビジョンを持ったまちづくりを進めなければなりません。私はそのビジョンとして教育に力を注ぐべきだと提言したのです。

教育は投資です。市で育てた子ども達が、また市に帰ってくるような長期的なまちづくり。「教育のまち 四條畷市」と、自信を持って言える取り組みを、真剣に行っていかなければなりません。そして、それを実現するために、アイデアを沸き立たせ、市一丸となって考える環境が整い、実行できるならば、この市の将来は、きっと明るくなると私は考えます。

「6月定例議会」報告です！

まず、13日に行われた本会議議案第29号「四條畷市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案」について、質問させて頂きました。

改正の理由は、子育て支援の観点から、所得による乳幼児医療費の助成の制限を撤廃するため、です。

この制度の概要ですが、簡単に説明しますと、四條畷市の乳幼児医療費助成制度の対象者は、入院及び通院が3歳未満(入院は就学前まで)で、しかし、これを適用するにも、扶養人数によりますが、所得が多ければダメという事です。

今回は、この所得の制限を外すという改正でした。

長畑ひろのり：この改正で、所得制限にかかっていた為に、制度を受けられなかった5%の方が救われます。しかし、この程度の改正ではまだまだ納得できるものではなく、近隣市を見ましても、畷と同じ3歳未満の市は守口市しかなく、他市は3歳未満どころか就学前までになっている所が多いのです。市の財政が厳しいのは理解していますが、このような改正で満足しますと、この市に住む人が確実に減ってしまいます。この市を魅力あるものにする為に、せめて府下の他市レベルへと、課題と要望を強く訴えました。

次に、26日に行われました、一般質問において、小項目を含め、次の赤字で示した7点を尋ねました。

1. 市長へ市政に対する明確なビジョンを端的に問う。
2. 教育長へ教育行政として明確な教育ビジョンと、四條畷市の目ざす子ども像を問う。
3. 2学期制について。
 - ・ 2学期制へ四條畷市が移行する事になった経緯を問う。
 - ・ 3学期制から2学期制へ移行しなければ、絶対に出来ないメリットを問う。
 - ・ 3学期制から2学期制へ移行する事によるデメリットと、その事への対応策を問う。
 - ・ 保護者への理解を得るために、どういう事を今後行うのかを問う。
4. 学校施設におけるエアコンについて。
 - ・ 学校施設におけるエアコン設置状況(未設置を含む)に対して、本年度を含む今後の設置状況及び理由。

今回の報告は紙面の都合上、3、4に関して行います。

「2学期制について」

2学期制ですが、現在、田原中学校と田原小学校で行われています。そして来年度には、四條畷市内の全ての小中学校で実施されるのが決定しています。

「エアコンについて」

現在、田原小学校の増築部、忍ヶ丘小学校及びびくすのき小学校の普通教室に付いています。そして今後は、残りの各学校へ早急に付くのかと本年度の計画を調べましたが、各学校の普通教室の計画は無く、全ての小中学校の職員室と校長室にエアコンを取り付ける事がすでに決定していました。

疑問だらけの二学期制！

2学期制が良い形なら、日本全国で行われているのではと調べましたが、10%程度しか2学期制になっていません。また、教育再生会議2次報告も発表され、この報告も来年度から安倍首相は実施すると言っています。そうなりますと、土曜日の授業や、また、朝の15分授業、40分授業にして7時間目の実施など、弾力的な授業形態をとる事が出来ます。今はこちらを主体に考えるべきではないかと訴えました。

そして、2学期制の実施に至った経緯を、教育委員会定例会の議事録を調べましたが、経緯についての議論は、ほとんどありませんでした。また定例会の中では、保護者へ説明をし、多数の方の納得が出来ないと言いながら、現実には、保護者への理解どころか、説明すら行われず、実施に向けて進めている事に疑問を投げかけました。教育委員会の回答は、2学期制を来年度実施する。保護者への説明は2学期に入ってから2学期制を理解して頂く説明を1度し、その後再度説明会を開くと言う事です。

2学期制のメリット、デメリットは限りなくあります。私個人としては、やはり9月入学式のアメリカ等が出来る形であって、前期の途中に夏休みが入る日本では無理があると考えます。また、通知表が1回減るのは保護者にとって不安を与えるのは確実です。不安を解消する為に保護者への説明を強く求めました。

しかし、学校現場は子ども達の事を考え、2学期制へ、真剣に取り組んで頂いています。その点を思い、教育委員会も、学校現場以上に真剣に取り組んで欲しい旨を伝えました。

学校間で差のある設備？

エアコン工事の予算は、国指導で学校施設の耐震を進める為、付かないとの事です。また、職員室及び校長室のエアコンは、主に夏休みの職務の為に付けるとの事でした。

長畑ひろのり：同じ市内の同じ公立学校で、こんなちぐはぐな環境で授業を受けさせてどうにも思わないのか。耐震の重要性は理解できるが、あまりにも計画性がないと訴えました。



私の50分にわたる一般質問の後、教育長が急に話さず「2学期制を実施してダメだったら、3学期制に戻しても良いと各校長へ言っている」と議会で発言しました。この点に関しては、大いに疑問を持っています！